



# 1年間の活動について

『部員を増やそう』

『野球の価値を高めよう』

①保護者とのディスカッション

②小学部の勉強会（2回）

③指導者・保護者向け講習会（3回）

・保護者会の有無に関わらず、保護者間の助け合いの  
できているチームは安定している

☆チーム状況調査

1. 髪型 : 坊主頭 15%, 自由 85%

2. 保護者会 : 有 73%, 無 27%

3. 会議の開催 : 年1回, 未開催 37% (未開催28チーム)  
毎月実施 28%  
年6回以上 36%

4. 練習時間 : 一日中 37%

・チーム運営方針 ⇒ 明確に打ち出しているチームは、選手人数も多い。

# ライブ配信 専用アプリの活用 による広報強化



ボーイズリーグの秘密兵器

## 日本少年野球アプリ 利用手順書



2022/4/23

ボーイズリーグ東日本ブロック

日本商店株式会社

YouTubeを活用した試合のライブ配信：

<https://www.youtube.com/watch?v=EPg6zd-CA5c>

(第52回 日本少年野球 春季全国大会 大田スタジアム 中学生の部 決勝戦)

# 各地域で体験会,年間を通して勉強会を実施

はじめての

## ティーボール 体験会 参加者募集!

お申し込みが必要です

# 4月17日(日)

雨天の場合は4月24日(日)に順延いたします

**無料・先着30名!**

10:00~12:00

**特別講師!**  
ジャイアンツアカデミー  
コーチ 4名

対象: 荒川区、近隣区の  
年中から小学3年生のお子さま

場所: あらかわ遊園運動場

※バット・グローブは使いません

あらかわ遊園  
あらかわ遊園運動場  
(荒川区西尾久 8-3-1)  
郵便「荒川遊園地前」駅すぐ

あらかわ遊園  
スポーツハウス  
入口

会場

荒川遊園地前駅

王子

荒川遊園地前駅

町屋

ティーボールは... ピッチャーがボールを投げず、台の上に置かれたやわらかいボールをバットで打つ、野球に似たスポーツです

**申し込み方法** 先着順での受付となります

下記内容をご記入のうえ、メールにてお申し込みください  
メールアドレス: arakawa.k.s.c@gmail.com

- ・お子さまのお名前と学年
- ・保護者のお名前
- ・連絡先電話番号

メール受信後、1日以内に受付可否・当日の注意事項などを返信します

**お問い合わせ**

ご不明な点など、お気軽にお問い合わせください

荒川キッズスポーツクラブ  
担当: 若野(わかの)

090-1607-4199

Instagram  
公式LINEアカウント

左記メールアドレス、Instagram、公式LINEアカウントでの問い合わせも可能です

主催: 荒川キッズスポーツクラブ  
後援: 荒川区・荒川区教育委員会  
ボーイズリーグ 未来へ活性化プロジェクト  
協力: ジャイアンツアカデミー

新型コロナウイルスの感染拡大状況などにより、やむをえず中止をする場合がございます。開催時には感染拡大防止対策(手指消毒・検温・保護者のマスク着用など)へのご協力をお願いいたします。雨天・荒天の場合は4月24日(日)に順延いたします。変更などについてはメールにてご連絡いたします。

## 《指導者&保護者向け講習会について》 未来へ活性化プロジェクト

### 【zoom、YouTubeを活用したオンライン講習会の実施】

- ・アンケートを回収し今後の参考に役立てるとともに、受講証書を配布することによる指導者および保護者への視聴促進。
- ・BLアプリ(開発中、2021年12月実装予定)からの視聴促進。

### 【全体構成】 未来へ活性化プロジェクトより15分+メインテーマ講演40分+メニコン様講演予定:15分 【メニコン】

『目を科学する』、『オルソケラトロジーについて』、『ビジョントレーニング』、『メルスプランの紹介』などなど

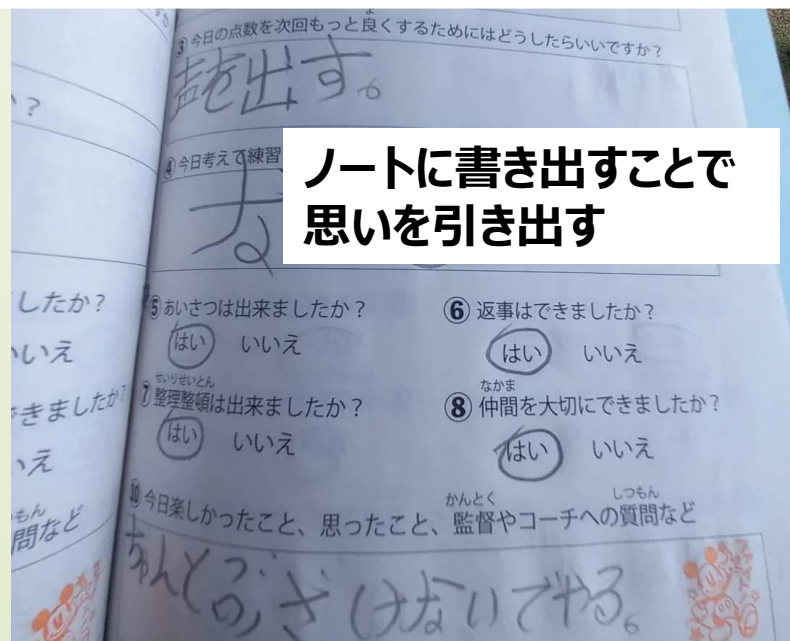
### ボーイズリーグ東日本ブロック 指導者&保護者向け講習会

## メインテーマ「ケガをしないさせない」

Vol.1 2021年12月21日(火)	Vol.2 2022年1月11日(火)	Vol.3 2022年2月14日(月)
<p>1. 未来へ活性化PR「今までと同じでは変わらない」</p> <p>2. メインテーマ講演 /40分 講師: 土橋恵秀 先生 早稲田大学野球部OB. ソフトバンクホークスの和田・馬原投手のパーソナルトレーナーを務める。 「知っておきたい からだのこと(仮)」</p> <p>3. メニコンさま講演予定/30分 「スポーツビジョンについて」 講師: 坂田さま(臨床)</p>	<p>1. 未来へ活性化PR「今までと同じでは変わらない」</p> <p>2. メインテーマ講演 /50分 講師: 古島弘三 先生 (慶友整形外科病院スポーツ医療センター長) トミージョン手術の第一人者で多くのプロ野球選手の治療を手掛ける。 「障害予防! 将来ある選手たちのために(仮)」</p> <p>3. メニコンさま講演予定/30分 「スポーツとコンタクトレンズについて」 講師: 松田さま(ブランド)</p>	<p>1. 未来へ活性化PR「今までと同じでは変わらない」</p> <p>2. メインテーマ講演 /40分 講師: スポチューバーTV管理栄養士チーム 「何を食べれば良いか— 必勝レシピ紹介(仮)」</p> <p>3. メニコンさま講演予定/30分 「オルソケラトロジーについて」 講師: 野崎さま(オルソK)</p>

# 練習風景を視察

- 練習メニューが貼ってある(やることハッキリ)
- 1分スピーチがある(コミュニケーションの促進)
- 怒鳴り声は一切ない(楽しむ環境づくり)
- 野球はやらせたいが、入れるところがないという夫婦が見に来ていた。子は体験。(機会の有効化)
- 2年前は、4人だった(良い環境には仲間が集まる)



ノートに書き出すことで  
思いを引き出す



# 低反発バットの導入検討

目的は？

- ・打球速度を抑えて投手の受傷事故を防止すること
- ・打高投低の傾向が見られ、投打のバランスを見直し、投手の負担軽減を目指す

- ➡ 導入検討の話が出るということは、危険性が高いということ。大会や練習で事故が起きてからでは遅い。訴訟社会への対応という考え方をすべきではないか。危機管理として、熟慮すべき問題。
- ➡ 高野連は2024年に導入する。ボーイズリーグ出身者が高校で苦慮しないようにすべき。
- ➡ 打力の向上を目指すためには、世界標準にすべき。

# トーナメント方式⇒勝利至上主義

と言われてますが…

- ▶ 負けたら終わりの方式 ⇒ よって絶対に勝ちたい選手は勝ちたい…  
指導者・大人は別角度から。

別角度からという考え方が重要。

『敗戦処理をどう考えるかが、勝利への道。』

- ▶ 勝は1チーム…

これほど負けばかり作る方式で本当に面白いのか  
。。。変えるべきでは？

# リーグ戦の積極的導入を！

勝利を目指すことは当然だが、負けても次がある。

① リーグ戦の実施方法について

- ・16チームの際のリーグ戦案
- ・4つのリーグに分け各リーグ4チームで各チームが3試合ずつ総当たりで行う。
- ・各リーグ1位・2位の合計6チームが決勝トーナメント進出

Aリーグ	Bリーグ	Cリーグ	Dリーグ
1	5	9	13
2	6	10	14
3	7	11	15
4	8	12	16

Aリーグ	1	2	3	4	Bリーグ	5	6	7	8	Cリーグ	9	10	11	12	Dリーグ	13	14	15	16
1					5					9					13				
2					6					10					14				
3					7					11					15				
4					8					12					16				

・決勝トーナメント

4つの各リーグ1位4チーム、各リーグ2位の4チーム（合計8チーム）で実施

- ・リエントリー
- ・投球数50球
- ・試合ごとに個人賞
- ・出場人数の取り決め
- ・指導者はベンチ外

。。。ほか

5月に開催された関東ボーイズリーグ大会・小学生の部  
決勝に進出した2チームともに、予選リーグ 2位のチームでした。



## 1年間の活動について

『部員を増やそう』  
『野球の価値を高めよう』

勝利ばかり追いかけっていると  
肝心なことを忘れがち

人生100年時代  
小学生・中学生  
体は未熟 学業も必要

➡部員を増やそう…としても  
大切なのは 『野球の評判』  
『チームの評判』  
なぜ、一般的に受けないのか？

佐々木投手の8回降板  
ワイドショーでも、  
正しいとのコメントが圧倒的

# 部員を集めるために 今すぐに行えること

立花さんの講習会をまとめた結果

- ①練習時間を短くする。
- ②怒鳴る指導はやめる。
- ③保護者の負担を軽減する。

その他、当然ではあるが。。

- ・自主的に投球数制限をする。
- ・勝利に拘り過ぎない。
- ・チームスタッフと保護者との連絡,報告,相談を密に。

# 活動の目標は 【育成】

大切なことは

## 『スポーツマンシップの理解』

- ▶ 定款 第2章 第3条
- ▶ (目的及び事業)

硬式野球を愛好する少年に正しい野球のあり方を指導し、  
野球を通じて心身の錬磨と**スポーツマンシップを理解させることに努め**、  
規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、  
次代を担う少年の健全育成を図ること。

- ▶ 「**勝つこと**」と「**人間的成長**」の両立

# 今後の具体的な対策！

■年間を通じて、講習会勉強会を実施する

- ①チーム指導者とのディスカッション
- ②トレーニング・栄養学・ケガ予防策
- ③スポーツマンシップ等の講習

の配信

同時に、会議にて紙媒体にて報告配布。

選手に関係する多くの方々に伝えていきたい。

自ら球数制限・他リーグとの勉強会

「野球の品位」を高めるよう努力したい。